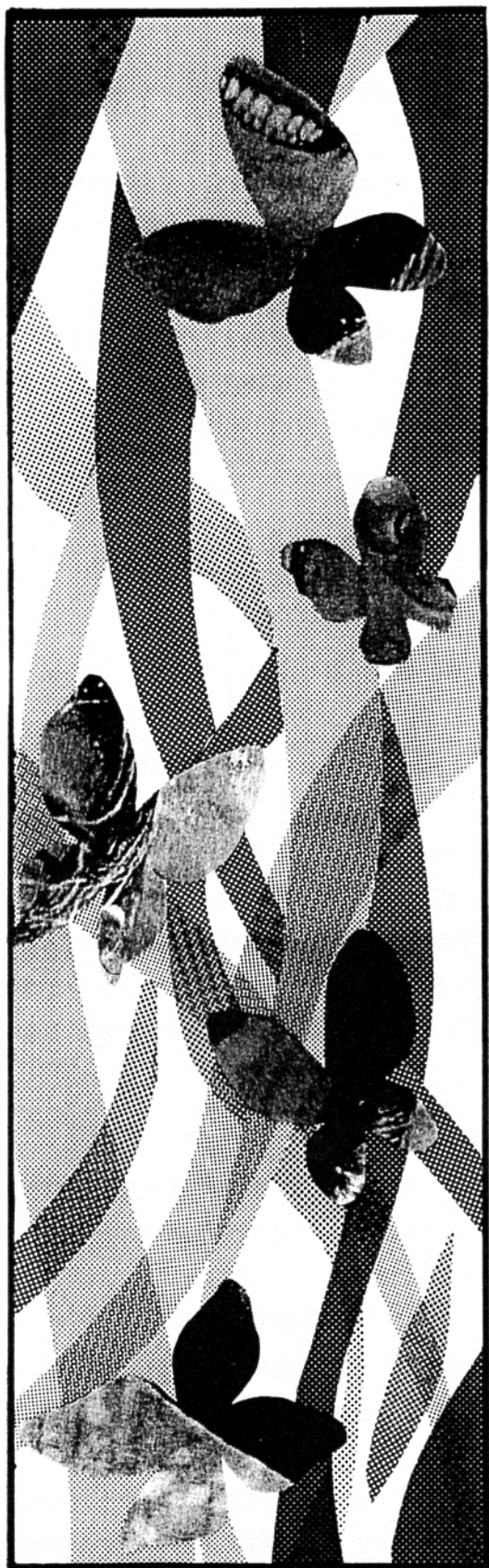


翔
1010
5



T
:O:
:B:
U

百万石蝶談会

April 1993

ミヤマカラスアゲハ雑感 2

嵯峨井 淳 郎

筆者は『翔』NO.94の『ミヤマカラスアゲハ雑感1』(嵯峨井, 1992)で1990年1年間の観察報告を述べた。本編は、その後の飼育経過と若干の所感である。

4. 飼育経過

8月27日に40卵を得、9月29日から蛹化が始まったが、種々の記録報告等に見られるような飼育記録をメモする事などは、筆者には到底できないので、齢期・眠期については記述できないが、卵・蛹・成虫の結果は次表のとおりであった。

卵			蛹					成 虫				
産卵数	フ化数	フ化率	死亡幼虫数	蛹 化 数			蛹化率	不明成虫	羽 化 数			羽化率
				褐色型	緑色型	計			♂	♀	計	
40	40	100	4	17	19	36	90	2	22	12	34	85

「不明成虫」は蛹の保管状況のまずさから、筆者の気付かないうちに羽化したもの。

蛹化した数は表のとおりであるが、このうち緑色型蛹は全て年内(1990年)に羽化に至り、褐色型蛹は越年後(1991年)羽化した。この結果を勝海雅夫氏の金沢での飼育結果(1988年、私信)と比較してみると、勝海雅夫氏飼育の場合は、「緑色型蛹・褐色型蛹関係無く、年内に羽化するもの、越年するもの混在していた」と伺っている。この異なる要因は、蛹の保管位置による日照時間、暖房による室内温度等が微妙に影響するものと思われ、今ひとつデータ不足で明確に記述することはできない。

5. 似た観察事例について

「ミヤマカラスアゲハ雑感1」で述べた、「終齢幼虫の頭部及び側帯に一部黒化の強いものがあるのを、小学校4年(現在6年)の末娘が発見。」というくだりに関する、似た観察事例が1点あったので紹介しておく。

その内容は、トカラカラスアゲハによる飼育観察事例(芦沢一郎, 1988, 1989)で終齢幼虫の腹脚に黒線が現れるものがあり、腹脚黒線の出現状況について36終齢幼虫のうち全く黒線が出現しないもの13、状況の多少はあるが黒線の出現するもの23幼虫あったと記している。

この腹脚黒線の有無がトカラカラスアゲハ成虫にどのような影響があったかは不明であるが、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ等特有のものなのか興味のあるところである。

なお、末娘が発見したミヤマカラスアゲハ終齢幼虫の頭部黒化の強い幼虫数は記録して

ないが、3分の1くらいはあったように記憶している。

以上、ミヤマカラスアゲハに関しての再検討、再調査を要する事項を残したが、今後更に調査・飼育を重ねた上で、何らかの答えが出れば本紙上を借りて報告したい。

また、読者の中に本種に関する過去の観察事例、文献等をお持ちの方がいましたら、ぜひご教示をお願いいたします。

《参考文献》

芦沢一郎ほか, 1988. カラスアゲハの5齢幼虫腹脚に黒線が出る. 蝶研フィールド, 3(2):20-22

芦沢一郎, 1989. トカラ列島産カラスアゲハの5齢幼虫腹脚黒線について. 蝶研フィールド, 4(1):27-28

嵯峨井淳郎, 1992. ミヤマカラスアゲハ雑感1. 翔, (94):3-4

《さがい じゅんろう 〒921 金沢市額谷3-18-2》

黄色のモンキチョウが産卵

松井正人

シロオビアゲハの雌に、雄に似た雄型とベニモンアゲハに似たベニモン型があることは良く知られているが、モンキチョウの雌に黄色型と白色型があることを知っているだろうか。黄色が雄で白色が雌と思い込んではいないだろうか。昔、黄色のモンキチョウどうしの交尾を目撃して驚いた事がある。雌は白色とすっかり思い込んでいたので、雄×雄の交尾と早合点し、後で落胆した思い出がある。

この黄色の雌がどれ程の割合で存在するのか知らないが、今度は黄色のモンキチョウが産卵するのを目撃したので報告する。

1992年7月5日 白峰村市ノ瀬 1♀(黄色タイプ) 松井正人確認

今回たまたま産卵といった雌特有の行動から、雄型雌の存在を思い起こされたが、普通種のモンキチョウはこんなことでもない限り、なかなか黄色の雌は確認されないのではないだろうか。

わざわざ腹部を確認して雌雄を判断するのは面倒かも知れないが、黄色型がどれくらいの割合で存在するのか、黄色型と白色型のどちらが優性なのか調べて見るのもおもしろい。幸いにもモンキチョウは多化性で、結果も速やかに出るだろう。

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県のタテハチョウ5

松井正人

前回 (NO. 99, DEC, 1992) に引き続き、石川県で記録されているタテハチョウを紹介する。

18 ヒオドシチョウ

能登地方の記録は少ないが、県内全域に広く分布すると思われる。

文 献

1992年 5月 4日	珠洲市山伏山	1 頭目撃	松井正人	
年 8月 3日	鹿島町石動山	多数目撃	和田木征範	1002
1985年 6月14日	志賀町神田	1 頭目撃	松井正人	
1983年 6月19日	志賀町眉山	3 頭目撃	松井正人	
1990年 9月 9日	羽咋市基石ヶ峰ピーク	1 頭目撃	松井正人	
1992年 8月16日	押水町宝達山山頂	1 頭目撃	松井正人	
1982年 6月10日	津幡町俱利伽羅	目撃	岩下泰子・他	2042
1983年 7月 3日	津幡町甲斐崎山	1 頭目撃	松井正人	
1985年 6月23日	津幡町菩提寺	1 頭目撃	松井正人	
1991年 6月15日	金沢市キゴ山	目撃	竹谷宏二	
1978年 6月13日	金沢市医王の里	1 ♂	吉村久貴	2001
1991年 4月28日	金沢市医王山	目撃	野中 勝	
1991年 7月 7日	金沢市榎尾	1 頭目撃	松井正人	
1985年 4月17日	金沢市笠松林道	1 頭目撃	松井正人	
1983年 4月24日	金沢市菊水		金平永二	2041
1984年 6月24日	金沢市曲子原	1 頭目撃	松井正人	
1972年 4月16日	金沢市駒場	1 頭目撃	松井正人	
1972年 4月 4日	金沢市熊走	4 頭目撃	松井正人	
1991年 7月14日	金沢市見越山	1 頭目撃	松井正人	
1992年 4月19日	金沢市黒タキ山	3 頭目撃	松井正人	
1972年 4月16日	金沢市犀川ダム	1 頭目撃	松井正人	
1972年 3月31日	金沢市山川	2 頭目撃	松井正人	
1978年 5月 4日	金沢市順尾山	1 頭目撃	松井正人	
1978年 6月13日	金沢市小原	1 頭目撃	松井正人	
1980年 4月 3日	金沢市小平沢	目撃	諸道秀人	2015
1984年 6月24日	金沢市松根	1 頭目撃	松井正人	
1985年 6月16日	金沢市松根口	1 頭目撃	松井正人	
1972年 4月 4日	金沢市菅池	1 頭目撃	松井正人	
1985年 6月16日	金沢市浅丘	2 頭目撃	松井正人	
1970年 6月21日	金沢市大桑	2 頭	松井正人	
1980年 4月 3日	金沢市大平沢	目撃	諸道秀人	2015
1976年 4月 5日	金沢市中山	1 頭目撃	松井正人	
1979年 4月10日	金沢市坪野	1 頭目撃	松井正人	
1971年 6月23日	金沢市天池	数頭目撃	松井正人	
1979年 3月28日	金沢市田島	1 頭目撃	松井暢人	
1979年 4月15日	金沢市東原	7 頭目撃	松井正人	
1976年 4月 5日	金沢市東荒屋	1 頭目撃	松井正人	
1969年 5月21日	金沢市藤棚	2 蛹	松井正人	
1979年 4月22日	金沢市栃尾	目撃	金平永二	2009
1992年 3月28日	金沢市二俣	1 頭目撃	松井正人	

文 献

1973年 4月 3日	金沢市日尾	1 頭目撃	松井正人	
1990年 3月21日	金沢市俵	3 頭目撃	武藤 明	1057
1972年 3月31日	金沢市別所	2 頭目撃	松井正人	
1984年 6月24日	金沢市北千石	1 頭目撃	松井正人	
1976年 4月 5日	金沢市北袋	1 頭目撃	松井正人	
1980年 4月21日	野々市町金沢工業大学	1 卵塊目撃	諸道秀人	2015
1982年 4月25日	吉野谷村下吉野	目撃	竹谷宏二	2044
1981年 4月26日	吉野谷村市原	7 頭目撃	松井正人	
1982年 6月20日	吉野谷村蛇谷	1 頭目撃	松井正人	
1972年 7月22日	吉野谷村湯谷頭	1 頭	松井正人	
1984年 8月20日	尾口村丸石谷林道	目撃	吉村久貴	2050
1981年 4月26日	尾口村瀬戸	5 頭目撃	松井正人	
1985年 8月 4日	尾口村中の川	1 頭目撃	松井正人	
1991年 8月17日	尾口村白山七倉山下	1 ♂ 2 頭目撃	松井正人	
1982年 7月 4日	尾口村白山小桜平	2 頭目撃	松井正人	
1991年 8月16日	尾口村薬師山頂上	1 頭目撃	松井正人	
1988年 7月31日	白峰村砂御前山	1 頭目撃	松井正人	
1988年 8月 6日	白峰村赤兎山	1 頭目撃	松井正人	
1992年 6月28日	白峰村大杉谷	1 頭目撃	松井正人	
1978年 7月20日	白峰村白山観光新道	2 ♀	中山佐一郎	9104
1992年 7月19日	白峰村白山釈迦林道	2 頭目撃	松井正人	
1992年 6月28日	白峰村白峰	1 頭目撃	松井正人	
1992年 6月27日	白峰村百合谷	5 頭目撃	松井正人	
1988年 3月20日	辰口町灯台笹	1 頭目撃	松井正人	
1982年 6月 9日	辰口町仏大寺	1 ♀	中山佐一郎	9104
1961年 6月18日	小松市ハニベ岩窟院	1 頭	中山佐一郎	9104
1989年 3月12日	小松市鶴川	1 頭目撃	松井正人	
1980年 4月 3日	小松市観音山	1 頭	中山佐一郎	9024
1982年 6月 8日	小松市岩倉山	1 ♀	中山佐一郎	9104
1979年 3月28日	小松市岩渕	1 頭	中山佐一郎	9024
1985年 6月20日	小松市原	1 ♀	中山佐一郎	9105
1979年 4月 6日	小松市光谷	1 ♀	中山佐一郎	9024
1980年 4月10日	小松市佐美	1 ♂	中山佐一郎	9024
1979年 3月20日	小松市上麦口	1 ♂ 1 ♀	中山佐一郎	9104
1979年 4月 9日	小松市長谷	2 ♀	中山佐一郎	9024
1988年 3月19日	小松市東山	1 頭目撃	松井正人	
1983年 6月 9日	小松市動山	1 ♀	中山佐一郎	9104
1978年 7月20日	小松市白山	1 ♀	中山佐一郎	9024
1980年 4月11日	小松市布橋	1 頭	中山佐一郎	9024
1980年 4月11日	小松市麻畠	1 頭	中山佐一郎	9024
1983年 6月10日	小松市木場	2 ♀	辻 栄治	9104
1979年 4月21日	小松市蓮代寺	1 ♀	中山佐一郎	9024
1983年 3月28日	小松市蓮如山	3 ♀	中山佐一郎	9104
1983年 4月24日	加賀市刈安山	目撃	野中 勝	
1985年 4月 6日	加賀市牛の谷峠	目撃	吉村久貴	2052
1992年10月17日	加賀市橋立	1 ♀ 目撃	松井正人	
1981年 6月24日	加賀市柴山湯	1 ♀	中山佐一郎	9104
1985年 4月 6日	加賀市曾宇	目撃	吉村久貴	2052
1983年 4月 8日	山中町我谷	目撃	吉村久貴	2041
1983年 4月 8日	山中町刈安山	目撃	吉村久貴	2041

19 キベリタテハ

1,500m以上の高地に見られ、白山地域では普通に見られる。稀に越冬個体が低地でも観察される。

			文 献
1990年 9月23日	金沢市医王山	目撃	野中 勝
1988年 4月16日	金沢市医王山箱矢谷出合	1頭目撃	松井正人
1990年 8月 1日	金沢市見越山	3 4 幼	松井正人
1988年10月 2日	金沢市順尾山	1頭目撃	野中 勝・他 2075
1989年 8月26日	金沢市赤摩木古山	1頭目撃	澤田 博 2081
1979年 4月22日	金沢市倉谷川	1頭目撃	松井正人
1978年 8月20日	金沢市奈良岳	3頭目撃	松井正人 2002
1958年 8月16日	金沢市二又新	1頭目撃	中村 繁 9005
1991年 5月20日	河内村板尾	1頭目撃	吉村久貴 2099
1988年 9月 4日	吉野谷村三方岩岳登り口	1頭目撃	武藤 明 1055
1981年 7月26日	吉野谷村枝谷出合	1頭目撃	松井正人
1982年 6月20日	吉野谷村蛇谷	4頭目撃	松井正人
1984年10月 1日	吉野谷村白山林道	1♂	山岸善也 2046
1990年 7月29日	尾口村加賀禪定道	1頭目撃	松井正人
1990年 8月25日	尾口村丸石谷林道	目撃	竹谷宏二
1990年 8月19日	尾口村岩間温泉	1頭	左合 直 9124
1985年 9月15日	尾口村三又発電所	1頭目撃	松井正人
1988年 8月14日	尾口村小桜小屋	1頭目撃	松井正人
1987年10月 4日	尾口村新岩間温泉	目撃	勝海雅夫
1980年 8月15日	尾口村中の川	1頭目撃	松井正人
1988年 8月14日	尾口村白山楽々新道	多数幼目撃	松井正人
1986年 8月17日	尾口村白山清浄ヶ原	1頭目撃	松井正人
1988年 5月 1日	白峰村市の瀬	1♂	松井正人
1980年 9月14日	白峰村大杉谷		竹藤 明 1045
1991年 9月16日	白峰村白山沢迦林道	目撃	竹谷宏二
1970年 8月17日	白峰村白山甚の助小屋	1頭目撃	松井正人
1984年 8月14日	白峰村白山南竜馬場	目撃	吉村久貴 2051
1980年 9月14日	白峰村白山六万山		竹藤 明 1045
1983年 9月 3日	白峰村別山チブリ小屋	1頭目撃	松井正人
1954年 9月 日	小松市花坂		9024

20 エルタテハ

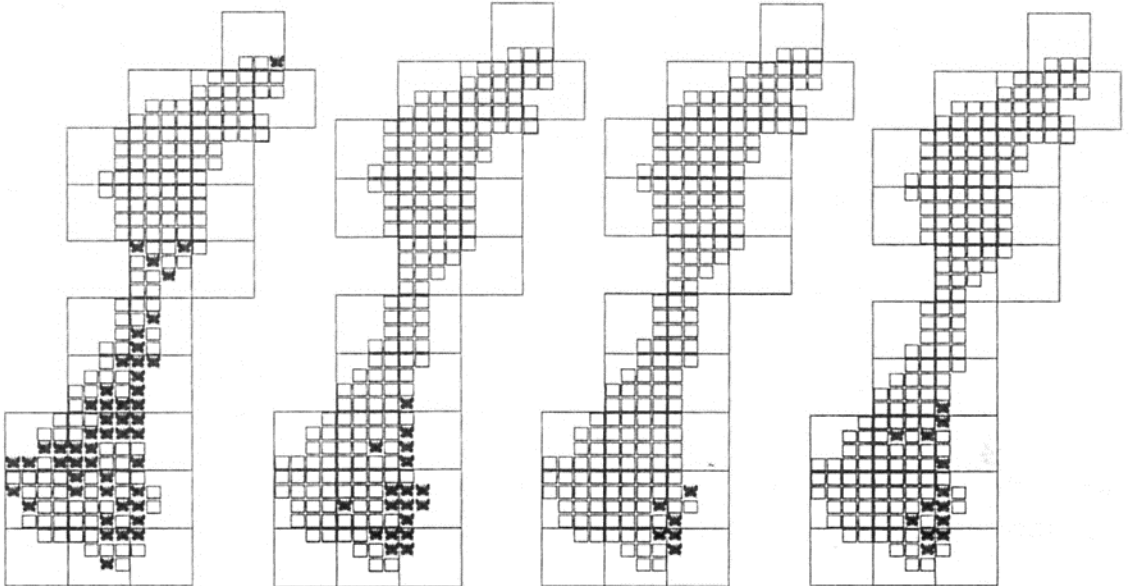
白山地域の1,500m以上の高地で確認されているが、少ない。成虫の記録しかなく、本県での発生も確認されていない。

			文 献
1990年 7月29日	吉野谷村三方岩岳	1頭目撃	武藤 明 1057
1990年 8月26日	尾口村加賀禪定道	3頭目撃	竹谷宏二 2086
1990年 8月25日	尾口村丸石谷林道	目撃	竹谷宏二
1985年 7月28日	尾口村白山北竜馬場	1頭目撃	竹谷宏二 2070
1985年 7月29日	白峰村白山室堂	1頭目撃	竹谷宏二 2070
1979年 8月 5日	白峰村白山甚の助小屋	1頭目撃	竹谷宏二 1043
1958年 8月 4日	白峰村白山別当出合	1頭	村中泰次 1008
1953年 7月27日	白峰村白山六兵衛茶屋	1頭	北浦亀松 1008

21 クジャクチョウ

白山地域に見られるが少なく、春に越冬個体が低地でも観察される。本種も県内での発生は確認されていない。

			文 献
1971年 7月13日	金沢市医王山	1 頭	嵯峨井淳郎 1024
1990年 8月 1日	金沢市見越山	1 頭	松井正人
1972年 4月 4日	金沢市見定	4 頭目撃	松井正人
1972年 4月 4日	金沢市犀川ダム	1 頭目撃	松井正人
1972年 4月 4日	金沢市日尾	1 頭採集 2 頭目撃	松井正人
1971年 4月 日	金沢市板ヶ谷	1 ♀	時国健太郎 1022
1979年 9月13日	鶴来町倉ヶ岳	1 頭目撃	諸道秀人 1043
1991年 5月25日	吉野谷村中宮温泉	1 ♂	松井正人
1985年 7月28日	尾口村白山お花松原	1 頭目撃	竹谷宏二 2092
1990年 8月25日	尾口村白山丸石谷林道	1 頭目撃	竹谷宏二 2092
1991年 8月13日	尾口村白山見返坂～七倉	5 頭目撃	野中 勝 2092
1992年 8月10日	尾口村白山七倉山下	1 頭目撃	松井正人
1991年 7月14日	白峰村砂御前山	目撃	竹谷宏二
1963年 8月 3日	白峰村白山観光新道	2 頭	中川憲吾
1962年 7月31日	白峰村白山御前峰	2 頭	越野 裕
1991年 8月14日	白峰村白山黒ボコ岩	1 頭目撃	田辺幸雄 2092
1985年 7月29日	白峰村白山室堂平	3 頭目撃	竹谷宏二 2092
1991年 7月 7日	白峰村白山沢迦林道	1 ♂	澤田 博 2092
1960年 7月 日	白峰村白山大汝峰	1 頭	富樫一次 9078
1985年 7月27日	白峰村白山殿ヶ池	1 頭目撃	竹谷宏二 2092
1986年 7月29日	白峰村白山南竜馬場	1 頭目撃	吉村久貴 2066
1984年 7月30日	白峰村白山別山道	1 頭目撃	竹谷宏二 2092
1991年 7月14日	白峰村百合谷林道	1 頭目撃	竹谷宏二 2092
1991年 5月19日	辰口町鍋谷	1 頭目撃	松田俊郎 2092



ヒオドシチョウ

キベリタテハ

エルタテハ

クジャクチョウ

《まつい まさと 〒920-01 金沢市大場町東871-15》

石川県のカミキリムシ科 (その12)

井村正行

200. カッコウカミキリ Miccolamia cleroides BATES

筆者の知り得た確実な記録は、入場 登氏が白山釈迦林道のヤマブドウからピーティングで得た2頭のみであった。本県では稀な種と思われる。

1973年6月3日 2頭 白峰村白山釈迦林道 入場 登

201. チビコブカミキリ Miccolamia verrucosa BATES

白山山麓のブナ帯に分布し、5月下旬～7月にカエデやミズキの花のスウィーピング、あるいはカエデやミズキの枯枝等で採集されている。個体数は少ない。

1979年5月20日 1頭 白峰村白山釈迦林道 井村正行

1984年6月24日 1頭 白峰村白山釈迦林道 野中 勝

202. シロチビコブカミキリ Miccolamia tuberculata PIC

4月～6月に低山帯のサワフタギの枯枝から得られる。サワフタギの細い枯枝を好むようで、それらには少なくない。

1983年5月1日 1頭 金沢市医王山 野中 勝

1986年6月29日 1頭 金沢市倉ヶ岳 井村正行

203. ジュウジクロカミキリ Clytosemia pulchra BATES

入場 登氏によれば、低山帯からブナ帯まで分布し、サワグルミやオニグルミの枯枝で、6月～7月に採集され、個体数も少なくないらしい。ホストとしてはオニグルミが確認されている。

1973年6月24日 1頭 白峰村市瀬 入場 登

1976年7月4日 1頭 河内村打尾 入場 登

204. クモノスモンサビカミキリ Graphidessa venata BATES

白山釈迦林道以外での採集記録は知られていない。ブナ帯のミズキの枯枝で6月～7月に得られているが、個体数は少ない。

1975年6月2日 1頭 白峰村白山釈迦林道 井村正行

1984年6月24日 1頭 白峰村白山釈迦林道 井村正行

205. クリイロチビケブカカミキリ Terinaea atrofusca BATES

加賀の低山帯からブナ帯に分布し、6月～7月にカエデの枯枝等で見られる。個体数は余り多くない。

1980年6月22日 5頭 白峰村白山大杉谷 井村正行

1992年7月21日 2頭 金沢市医王山 井村正行

206. ホソヒゲケブカカミキリ Eupogoniopsis tenuicornis BATES

白山釈迦林道で三蔭外茂治氏によって初記録されてから長く追加記録が無かったが、澤田 博氏によって1991年に医王山のカエデの枯枝から採集された。筆者も医王山にてカエデの枯枝から本種の採集に成功している。発生は7月頃と思われるが稀。

1990年7月16日	1♂1♀	金沢市医王山	澤田 博
1992年7月21日	2♂	金沢市医王山	井村正行

207. トゲムネアラゲカミキリ Aragea mizunoi HAYASHI

水野辰夫氏が採集され、タイプ標本になっている1例を知るのみである。

1947年7月17日	1♂	白峰村白山三谷	水野辰夫
------------	----	---------	------

208. ハイイロツツクビカミキリ Cylindilla grisescens BATES

低山帯からブナ帯に分布し、5月～7月にケヤマハンノキ等のハンノキ類の枯枝や倒木等で得られている。個体数はやや少ない。

1983年6月20日	1頭	白峰村白山釈迦林道	井村正行
1986年6月29日	1頭	金沢市国見山	井村正行

209. ドイカミキリ Mimectatina divaricata BATES

低山帯からブナ帯に広く分布し、各種広葉樹の枯枝、倒木、伐採木等から5月～8月まで見られる。個体数も少なくない。ホストとしてオニグルミ、ヤチダモ、イヌガヤ等が確認されている。

1992年6月9日	1頭	金沢市医王山	井村正行
1992年5月31日	1頭	白峰村市瀬	井村正行

210. ヒメシラオビカミキリ Pagonocherus fasciculatus hondoensis OHBAYASHI

平地から低山帯に分布し、クロマツやアカマツ等の枯枝から得られているが、それらの枯枝からの羽化脱出がほとんどで、野外における採集例は入場 登氏のネズミサシのビーティングで得られた1例だけである。9月中旬に倉ヶ岳で新しい脱出口のついたアカマツの枯枝から、まだ材内にいた脱出寸前のものを採集したこともあり、このことから本県では9月上旬頃に羽化脱出し、材外で成虫越冬するように思われる。枯材からの採集以外は稀。

1979年5月3日	1頭	加賀市片野	入場 登
1980年9月14日	5頭(材割出)	金沢市倉ヶ岳	井村正行

した採集をしていないので、数人から集めた標本はたったの2箱、しかもスキスキの間だらけ。

目玉は何と言ってもヒョウモンのハイブリットで、話題性があり人気もあったが、高値過ぎて買い手が付かず、揚げ句のはては井澤さんに箱ごと持っていかれた。

澤田氏もビノキュラを購入
ビドニ屋の澤田氏、上田ゴミムシダマシに刺激されたか、早速ビノキュラを購入。カクムネ種群を見分けるには、絶対に必要とカミさんを口説き落した。成果をお楽しみに！

今年も一番ギフは小松市だ
一番ギフを狙うギフチョウ軍団、今年は三月十四日から大捜査網を敷いたが、十四、十五、二十と全滅。二十一日にかりうじて小松で三頭を発見したが、これは歴代三位のタイ記録で、昨年より七日遅かった。

昨年の記録も同地で「十四

日は全国で一番」だったと記憶しているが、地理的に石川県は不利な筈。おそらくは分布密度の濃さから、目に触れる機会が高いものと思われる。それとも温泉で有名な石川県、地温が高いのかも知れない。

吉岡オシドリ夫妻、来沢
吉岡夫妻、のんびりギフを採るには金沢が一番と、三月二十八日仲良く帰省したものの、まだちよつと早かった模様。

高羽効果は 絶大
高羽文獻一覽表では、県内産の甲虫全てがわかる。裏を返せば、未記録種も分かる訳で、これが県内甲虫界に巻き起こした効果は絶大で、とにかく動きが活発化している。

上田氏は言うに及ばず、井村、澤田の二氏は準備運動を始め、中西氏は百年の眠りから覚めようとしている。ガチガチの蝶屋でお馴染の松井氏までもが甲虫図鑑を買い込んで始末。

ゲンゴロウで火が付いて、

ゴミムシ・キノコムシに飛び火し、今年中に燃え上がるのは必至と思われる、野中氏のリタイヤといったマイナス要因何するものぞと、今年は甲虫で沸いた沸いたの年になるだろう。

引つ越しはのんびり気分
二十八日に名古屋へ引つ越す筈の野中氏、あんまり天気が良いので、二十七日は曲子原でゲンゴロウ。二十八日も天気が良過ぎて、なかなか引つ越しははかどらない。「ギフチョウでも採りにいこうかなあ」の聲が聞こえていたのかいなのか、奥さんは荷物運びに汗を流していた。

桜の開花宣言は四月二日
金沢気象台は、四月二日に兼六園のソメイヨシノの開花宣言を発表したが、これはギフチョウ初見よりも十二日遅い。昨年の開花宣言も今年と同日だったが、これはギフチョウ初見より十九日も遅かった。

オオクワガタが採れてる？
未確認情報ながら、石川県のオオクワガタが販売ルートに乗っているらしい。森本から津幡にかけての採集品らしいが、本当なら商魂が虫魂が勝ったことになる。

例会の記録
二月十八日（木）城南管工二階にて八時より開催。

会場の都合がつかなくて、今回は異例の木曜開催となる。C社への会誌謹呈中止の聲が会員よりあがり、激論の末、今年から謹呈中止を決定。また三月七日のインセクトフェアに参加する野中氏から、参加及び出品協力の依頼がなされた。

参加は、近藤、山岸、徳本、上田、下田、指田、澤田、野中、中西、松井、井村、竹谷、勝海（TEL参加）の各氏、及び大津より遠路はるばる「青春十八キップ」で鈍行を乗り継ぎ駆け付けた諸道氏の十四名。

会員の動きーしやばの動き

大物迷蝶、越冬に成功！

沖縄ではクロマダラソテツシジミが、加賀市ではツマガロキチョウ、宝達ではツマガロヒョウモンと続々迷蝶が見つかっている。暖冬つづき、それとも地球温暖化のためか、最近では暖地系の迷蝶が各地で目白押しとなっている。

最近、金沢でも大物が確認され、クロマダラソテツ同様越冬にも成功したらしい。

実に5年ぶりに確認された大物迷蝶こと金平氏は、世間の騒がしさも知らず、大学生協でのんびりランチを食べていた。

金蝶亭で野中氏の送別会

やつと金沢の水にも慣れ、ゲリに悩まされることも無くなった野中氏ではあるが、今

度は名古屋へ引つ越すことになり、また悩めるオジさんの日々が始まる事になった。あわれんだ有志は、カラオケで彼を励ますのだった。新居は、名古屋市緑区鳴海町字伝治山1番地2号
タウン伝治山9-1206

誘引剤の優れたもの

岐阜県での話だが、誘引剤にメチルフェニルアセテートを使つたところ、多種にわたつて虫が採れたらしい。めばしいカミキリには、マルバネコブヒゲ、ヌバタマハナ、カタキハナ、ヒゲジロホソコバネ等があり、普通種となるとそれこそ山ほど採れたらしい。この優れたもの、で使いやすく、一瓶五百ccが四千元。石引の片岡薬品で取り寄せてもらえるが、この時はややこ

しい商品名を言う事になる。商品名は東京化成のフェニルアセティックアシッドメチルエステルでカタログナンバーはP0125。

ギンイチモンジが採れた！

昨年の話だが、六月三日に石動山でギンイチモンジセセリが採れている。採集者は、クロコノマの県内初記録者としても有名な尾田良知氏。

記録は一頭のみなので、追加記録も欲しいし、幼虫も確認したい。

初記録がめじろ押し

ゴミムシに狂つた上田氏、採り貯めた獲物をビノキュラで眺めれば、県内初記録のムシがゴロゴロあるらしい。これも、四十五万のおかげ、内助のおかげ、やたらおろそかにできません。

インセクトフェアー初参加

三月七日のフェアーに、野中親子と松井氏は、初めて机を出した。売ることを前提と

翔

NO. 101

1993年4月20日発行

百万石蝶談会

金沢市大場町東871-15 松井方

〒920-01 ☎0762-58-2727

郵便振替 金沢5-562

印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月の第1金曜日8時から

TEL参加もOKです(0762-44-3318)



目 次

嵯峨井淳郎：ミヤマカラスアゲハ雑感2	1
松井正人：黄色のモンキチョウが産卵	2
松井正人：石川県のタテハチョウ5	3
井村正行：石川県のカミキリムシ科（その12）	7
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10